

少数台数のリコール届出の公表について（平成27年6月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成27年6月は11件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：住友ナコ マテリアル ハンドリング株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月11日	3583	車名：SN 型式：ZAF-B1K 他 通称名：FB09-18PSVII 他	59	平成26年4月14日～ 平成27年1月20日
不具合の部位等	フォークリフトのアクセルにおいて、リターンスプリングのメッキ処理が不適切なため、スプリングに傷がついているものがある。そのため、アクセル操作を繰り返し行くと、スプリングが折損し、最悪の場合、アクセルペダルが戻らないおそれがある。			

2. 届出者：株式会社 豊田自動織機

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月11日	3584	車名：豊田織機 型式：AA89 通称名：-	11	平成25年6月10日～ 平成26年11月25日
不具合の部位等	<p>① パーキングロッドにおいて、製造時にパーキングロッドとパーキングレバーを接続するナットの取付部にゆるみ止め剤を塗布していないため、変速機を繰り返し作動させると、ナットがゆるむおそれがある。そのため、そのままの状態で使用すると当該ナットが脱落して、最悪の場合、走行中にギヤにナットが噛み込み、車輪がロックするおそれがある。</p> <p>② アクチュエータシャフトにおいて、アクチュエータシャフトとパーキングレバーの接続方法が不適切なため、変速機を作動時にスプリングピンに力が加わり変形が生じることがある。そのため、スプリングピンがずれ、そのままの状態で使用すると、当該ピンが抜け落ち、最悪の場合、走行中にギヤにピンが噛み込み、車輪がロックするおそれがある。</p>			

3. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月18日	3593	車名：三菱 型式：QPG-FU60VY 他 通称名：ふそうスーパーグレード	24	平成26年12月19日～ 平成27年3月30日
不具合の部位等	大型トラックにおいて、スプリングブレーキ解除用のリリースボルト一式がブレーキチャンバーに装着されていないものがある。そのため、スプリングブレーキ装置のエア系統が故障しスプリングブレーキが利いた状態になった場合に、スプリングブレーキの解除ができない。			

4. 届出者：日本車輛製造株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月18日	3598	車名：日車 型式：ATL110LNG 通称名：LNG タンクセミトレーラ	30	平成14年5月8日～ 平成19年9月10日
不具合の部位等	タンクセミトレーラにおいて、サスペンションブラケット取付部の補強リブの溶接強度が不足しているため、制動時に発生する応力により溶接部に亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行して補強リブが破損し、最悪の場合、サスペンションブラケットがサブフレームから外れて、走行不能となるおそれがある。			

5. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月25日	3597	車名：日野 型式：QPG-FW1EXEG 通称名：日野プロフィア	3	平成27年2月13日～ 平成27年2月17日
不具合の部位等	低床式後2軸駆動の大型トラックの後軸ディファレンシャル（差動装置）において、ドライブピニオンギヤの軸受を保持するケージの加工が不適切なため、ケージとキャリアの嵌合部にガタが生じ、ドライブピニオンギヤの軸がずれて、リングギヤとの噛み合いが浅くなる。そのため、そのままの状態で使用を続けると、リングギヤが欠損し、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。			

6. 届出者：株式会社 MV AGUSTA JAPAN

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月4日	外2194	車名：MV AGUSTA 型式：ZCGF620 通称名：F4 RR	1	平成26年12月11日
不具合の部位等	後輪サスペンションにおいて、内部のピストンとピストンピンシャフトを締結するナットの締め付け工程が不適切なため、締め付け力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ナットが外れ、緩衝機能が低下し、走行安定性を損なうおそれがある。			

7. 届出者：トライアンフモーターサイクルズジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月5日	外2193	車名：トライアンフ 型式：HB 他 通称名：デイトナ675R ABS 他	48	平成26年1月29日～ 平成26年11月14日
不具合の部位等	後輪サスペンションにおいて、内部のピストンとピストンシャフトを締結するナットの締め付け行程が不適切なため、締め付け力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ナットが外れ、緩衝機能が低下して、走行安定性を損なうおそれがある。			

8. 届出者：ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月10日	外2192	車名：ランドローバー 型式：ABA-LA3SB 通称名：ディスカバリー	95	平成26年10月17日～ 平成27年2月23日
不具合の部位等	アンチロックブレーキシステム（ABS）モジュールにおいて、制御プログラムが不適切なため、エンジン停止時にダイナミックスタビリティコントローラシステムが故障していると誤認識することがある。そのため、エンジン始動時に当該システムが故障していると判断して、システムを停止させるおそれがある。			

9. 届出者：ニコル・レーシング・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
6月11日	外2195	車 名：BMWアルピナ 型 式：ABA-3R20 通称名：B3 ビ・ターボ 他	24	平成26年2月12日～ 平成26年7月9日
不具合の部位等	燃料ポンプにおいて、当該ポンプ内部の製造工程が不適切なため、内部に異物が混入しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料ポンプ内のインペラに異物が噛み込み、燃料ポンプが停止し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し再始動ができなくなるおそれがある。			

10. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
6月18日	外2196	車 名：メルセデス・ベンツ 型 式：不明 通称名：Citaro-G	21	平成19年10月5日～ 平成22年9月9日
不具合の部位等	連節バスの後側車両において、天井エアコンユニット部の天井パネル下面に生じた結露水が配電盤への滴下を繰り返すことがある。そのため、配電盤内の電気回路が腐食によって短絡して警告灯の誤点灯等が生じ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

11. 届出者：FCAジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
6月30日	外2200	車 名：クライスラー 型 式：ABA-KL32L 他 通称名：ジープ・チェロキー	91	平成26年7月7日～ 平成26年9月4日
不具合の部位等	リヤショックアブソーバにおいて、取付部分の溶接が不適切なため、当該部分が破損するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行安定性に支障をきたすほか、最悪の場合、外れたショックアブソーバがブレーキ配管を損傷させ、制動力が低下するおそれがある。			

【参考】

●平成27年6月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	18件 (+4)	13件 (+1)	5件 (+3)
輸入車	14件 (-3)	8件 (+1)	6件 (-4)
計	32件 (+1)	21件 (+2)	11件 (-1)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成27年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	22(+2)	1(-10)	23(-8)	2,013,552(+865,710)	98(-39,102)	2,013,650(+826,608)
5	19(+9)	15(+4)	34(+13)	4,364,127(+4,305,411)	67,193(+61,819)	4,431,320(+4,367,230)
6	18(+4)	14(-3)	32(+1)	661,018(-1,457,264)	21,092(-26,867)	682,110(-1,484,131)
小計	59(+15)	30(-9)	89(+6)	7,038,697(+3,713,857)	88,383(-4,150)	7,127,080(+3,709,707)

※ () 内は、対前年比